

「どうか娘たちだけでも・・・」 アンネ・フランクの父オットーの悲痛な叫び



ニューヨークのイーヴォ・ユダヤ調査研究所で、アンネ・フランクの父オットー・フランクの書簡が発見された。それは、ナチスの迫害から逃れるために、アメリカへの移住の道を必死に模索していたオットーの涙ぐましい努力を伝えるものだった。

「どうか娘たちだけでも」オットーは友人を頼って、窮状を訴え続けた。しかし当時、アメリカも、世界の国々も、ユダヤ難民を受け入れようとはしなかった。オットーは行き場がないことを悟り、最後の手段として、オランダ、アムステルダム of 隠れ家に家族とともに潜伏する。1944年夏、隠れ家は発覚し、アンネら家族は逮捕され全員がアウシュヴィッツへ送られる。そして、1945年、アンネ・フランクはドイツのベルゲン・ベルゼン収容所で死亡した。

本作品は、アンネの家族でただ一人生き延びた父オットー、スイスに逃れた従兄バディ・エリヤス、義妹のエヴァ・シュロツの証言や貴重な歴史映像を通して、ホロコーストの実態とユダヤ難民に扉を閉ざした世界の無関心を浮かび上がらせる。

アンネ・フランクと
無数の難民を追い詰めたのは
世界の無関心だった

アンネのいとこバディ、最後の証言

「世界は何も学んでいない・・・」アンネのいとこバディ・エリヤス氏は、自らが建てたベルゲン・ベルゼン収容所のアンネの墓標の前で涙を流す。本作が完成してまもなく、89歳で生涯を閉じた。世界中の子どもたちに平和を語り続けてきたエリヤス氏の最後の姿を映す。

ホロコーストとは

ナチ・ドイツ及びその占領下のヨーロッパで起きたユダヤ人虐殺(1933-1945)。「ユダヤ人」という理由で約600万人が殺された。そのうち約150万人は子どもだった。他にも障がい者や同性愛者、かつて「ジプシー」と呼ばれた人々(シンティ・ロマ)も犠牲となった。



ホロコースト教育資料センター(愛称Kokoro)は、命と人権の教育に取り組む NPO です

一人ひとりがかげがえのない命。自分らしく生きる。人を思いやる。寛容な社会をつくりたい。

全国から依頼を受けています
学校訪問授業／自治体や PTA の人権・平和講演会／パネル貸出／アウシュヴィッツスタディーツアー引率
Kokoro 自主事業
セミナーや講演会の開催／国連指定の「ホロコースト国際デー」記念事業／出版・普及啓発

主な事業

主な教材



Kokoro は皆さまからの会費や寄付金で支えられています。ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

NPO 法人ホロコースト教育資料センター 〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-14-58 クリエイト目黒 103 TEL: 03-6450-3413 FAX: 03-6450-3404

Email : kokoro.org@gmail.com ホームページ <https://www.npokokoro.com/>

[f npo.therc](#) [twp npo_therc](#)